



社員教育へのご活用は
こちらから



第 4 週

思いやりの
「三方よし」

私たちには自分中心に物事を判断する傾向があります。まずはそれを自覚し、「自分だけの狭い物の見方・捉え方」から一步を踏み出して「周りの人や社会」に目を向け、周囲に喜びと満足をもたらすにはどうしたらよいかについて、知恵を巡らしてみたいかがでしょうか。

人は一人では生きていけません。必ず他者との関わりの中で支え合いながら生きています。だからこそ、家庭や職場、地域社会において、自分も相手も第三者も共に喜び、満足できる「三方よし」の生き方をしていきたいものです。

身近な人にも周りの人にも喜んでもらうには、何をしたらよいでしょうか。思いやりの心を積み重ねることで、きっと新たな世界が開かれていくでしょう。



MEMO

メモ

Blank memo area with horizontal lines.

第 3 週

本当の思いやり

「相手の立場に立つことが大切」と、よく言われます。しかし、なかなかそうした気持ちになることは難しいものです。

自分にとって都合のよい方法や考えにこだわった、独り善がりな思いやりでは、相手の心を傷つけたり、負担を感じさせたりすることにもなりかねません。

人の役に立ちたいと思い、行動を起こすときは、絶えず相手に心を向けることが大切です。「してあげた」という自己満足ではなく、その人の置かれた状況に心を配り、どうしたら喜びや満足、安心をもたらすことができるかを考え続けるのが本当の思いやりではないでしょうか。

お互いが相手の気持ちを察して心を通わせていったとき、そこに優しく温かい人間関係が生まれていくことでしょう。



MEMO

メモ

Blank memo area with horizontal lines.

第 2 週

想像力 判断力
行動力

私たちは、人それぞれに立場や境遇も異なれば、物の見方や考え方にも大きな違いがあります。また、その時々で気持ちや状況も変化するものです。そのため、円満な人間関係を築いていくためには、思いやりの心に基づく想像力と柔軟な判断力、さらには「よい行い」を実践に移す行動力が大切です。

そうした努力は身近な人たちとの間でも忘れないようにしたいものです。むしろ家族や友人などの親しい間柄であればあるほど、相手のことを分かったつもりになって、実践が難しくなるのかもしれませんが、だからこそ、ますます想像力をはたらかせて、相手のことを深く思いやり、許し合い、いたわり合っていく必要があるのではないのでしょうか。



MEMO

メモ

Blank memo area with horizontal lines.

第 1 週

相手も安心
自分も安心

順調に仕事を進めるためには、報告・連絡・相談等を通じて職場内の人間関係を円滑にして、お互いが安心し、信頼し合える環境をつくるのが大切です。

人間関係がうまくいかないときは、自分の心のあり方を見つめてみましょう。人を受け入れようとしない、かたくなな心はなかったでしょうか。自分がかたくなな態度でいる限り、相手からも同じような反応しか引き出せないでしょう。

相手が喜び、安心し、満足することを、相手の立場になって考える——それは、決して相手のためばかりではありません。こうした心づかいを積み重ねて、より良い人間関係を築いていくことが、結局は自分自身の「安心」につながるのです。



MEMO

メモ

Blank memo area with horizontal lines.

季節の植物
薔薇 (ヤブツバキ)

Illustration by Kyoko Kishi